

新たな四国圏広域地方計画 計画(素案)の概要



令和5年10月

四国圏広域地方計画協議会

計画の意義等

● 計画の意義

- ・平成28年3月に四国圏広域地方計画を策定して以降、我が国の社会情勢は、人口減少の進行や急速な少子高齢化、自然災害の激甚化・頻発化のほか、新型コロナウイルス感染症の拡大やデジタル革命の進展、2050年カーボンニュートラルなど大きく変化してきた。
- ・四国圏広域地方計画は、これらの潮流や課題に対して適切に対応していくため、現在検討中の新たな全国計画を踏まえつつ、総合的かつ広域的な観点から、将来の四国圏の発展における基本的方向を展望し、重点的・戦略的に取り組むべき事項を示すものである。

● 計画の位置付け

- ・四国圏の今後の発展に向けた国及び地方公共団体の取り組みの基本となるもの。
- ・地域づくりに参画する民間事業者、地域住民等にとって指針となるもの。

● 対象区域

- ・徳島県、香川県、愛媛県及び高知県

● 計画期間

- ・2050年さらにその先の長期を見据えつつ、策定から今後概ね10年間

四国圏の発展に向けた方針－社会の潮流－

① 急激な人口減少・少子高齢化の進行や地方の暮らしに不可欠な諸機能の確保への懸念

- 四国圏の人口減少・高齢化は、他の圏域より早いペースで進行している。特に、生産年齢人口の減少による労働力不足、若年層や女性の流出による地域衰退や少子化が懸念されている。
- 「日々の生活に必要な機能」、「所得確保のために必要な産業機能」、「文化的な生活に必要な機能」を一定の人口規模等を有する地域で確保していくことが求められている。

② 巨大な自然災害リスクの増大、インフラ老朽化の進展、2050年カーボンニュートラルに向けた動き

- 気候変動により激甚化・頻発化する風水害や南海トラフ地震など、巨大な自然災害リスクが増大している。
- 老朽化したインフラの予防保全により、インフラメンテナンスにかかるトータルコストの縮減等が求められている。
- 2050年カーボンニュートラル実現に向けた環境対策は、産業構造の大転換と力強い成長を生み出す鍵になりうる。

③ 国際競争の激化、エネルギーや食料の安定供給の危機

- 世界経済において低成長下にある我が国は、国際競争を生き抜くため、国内産業の競争力強化が求められている。
- 著しい新興国の経済成長や国際情勢の緊迫化により、世界的にエネルギーや食料の需給リスクが顕在化しており、我が国におけるエネルギーや食料の安定供給の必要性が高まっている。

④ デジタル化の進展、新型コロナウイルス感染症に伴う新しい生活様式の加速

- デジタル技術を、地方の社会課題解決や新しい付加価値創出のために、徹底活用することが求められている。
- 新型コロナウイルス感染症の流行によって加速した、居住地に縛られない新しい働き方や地方への関心の高まりを、地方の活性化や担い手確保に繋げていくことが求められている。

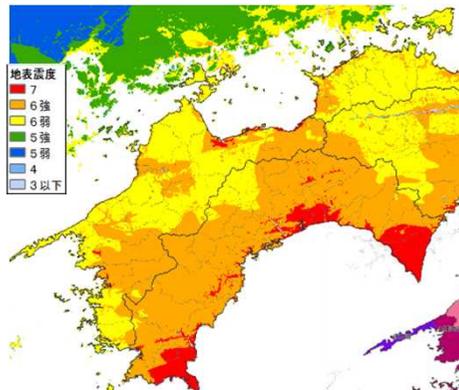
⑤ 三大都市圏が一体化した新たな交流圏域の形成

- リニア中央新幹線の開業により東京、名古屋、大阪の三大都市圏が一体化し、世界からヒト・モノ・カネ・情報を引き付ける新たな交流圏域が形成される。

① 自然の脅威の増大

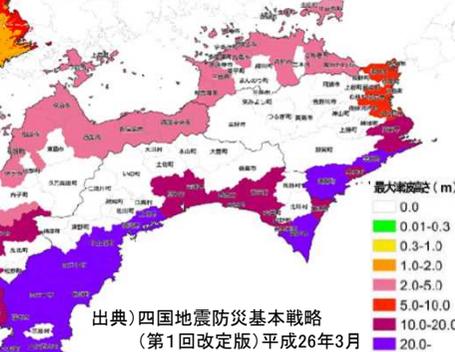
- 今後30年以内に70～80%程度の確率で発生する南海トラフ地震
- 気候変動による風水害の激甚化・頻発化、生態系等への影響の懸念

< 震度分布図 (最大値) >



南海トラフ地震は、四国全域に強い揺れが発生し、太平洋沿岸域は巨大津波が襲来。

< 市町村別最大津波高さ (最大値) >



出典)内閣府「南海トラフの巨大地震による津波高・浸水域等(第二次報告)2012.08」(強震波形4ケースと経験的手法の最大震度重ね合わせ)

出典)四国地震防災基本戦略(第1回改定版)平成26年3月

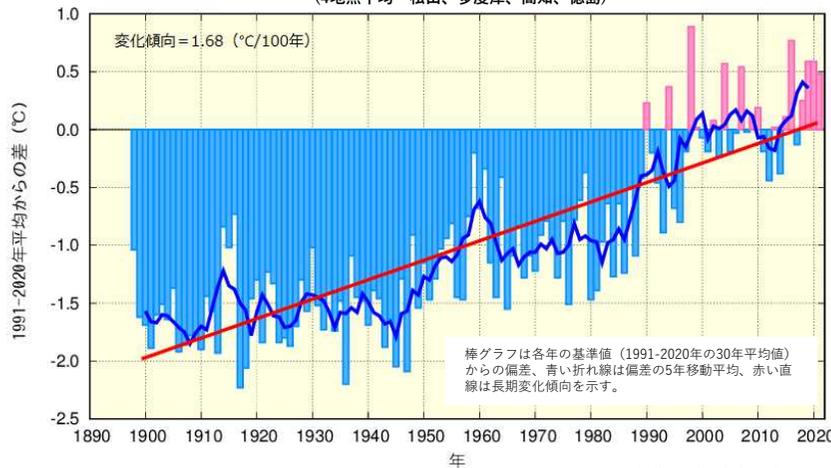
< 高規格道路等の整備状況 >



地震による津波の予想浸水箇所は、高速道路ミッシングリンクに集中

< 四国の年平均気温偏差 >

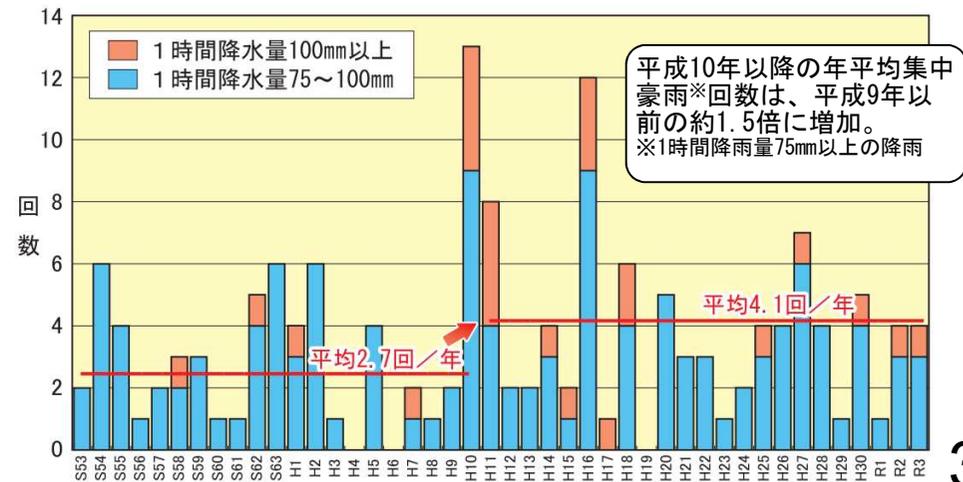
(4地点平均 松山、多度津、高知、徳島)



棒グラフは各年の基準値(1991-2020年の30年平均値)からの偏差、青い折れ線は偏差の5年移動平均、赤い直線は長期変化傾向を示す。

出典:高松地方気象台HP

< 四国の集中豪雨回数 >



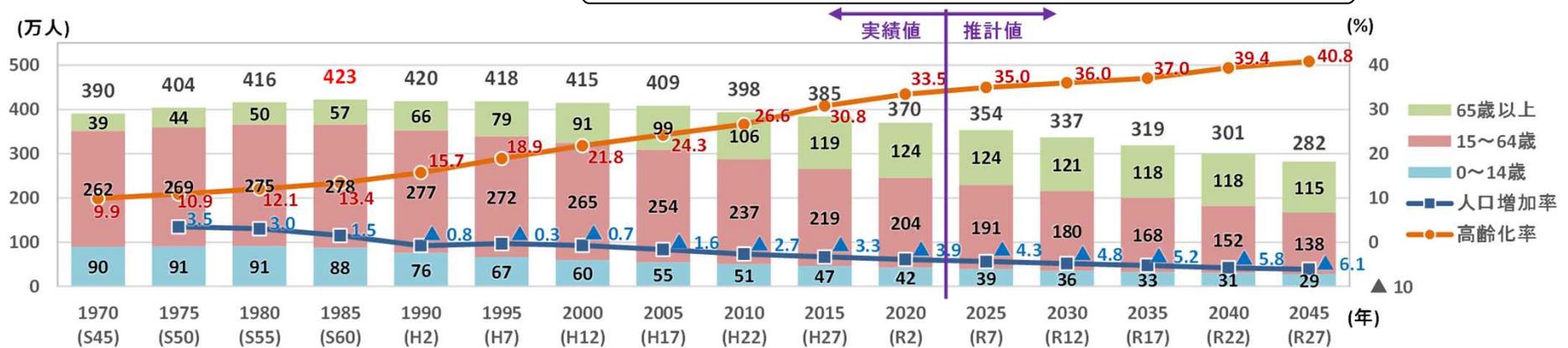
平成10年以降の年平均集中豪雨※回数は、平成9年以前の約1.5倍に増加。
※1時間降雨量75mm以上の降雨

②人口減少、少子高齢化の深刻化

- 全国と比べて高い人口減少率と高齢化率
- 人口減少による担い手不足や地域活力の低下の懸念

<人口動態の推移(将来)>

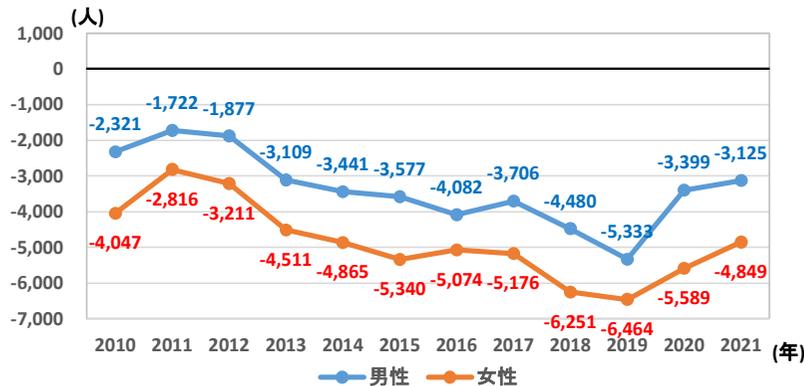
四国圏の人口は1985年をピークに減少。2045年には2020年の約75%まで減少する見込み。特に15～64歳の減少が著しい。



出典) 1970～2020年: 国勢調査の値
2025～2045年: 国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口(H30(2018)年推計)」の値
※2015年・2020年の年齢別人口は、年齢不詳を補完した数値

<四国圏における人口の社会移動>

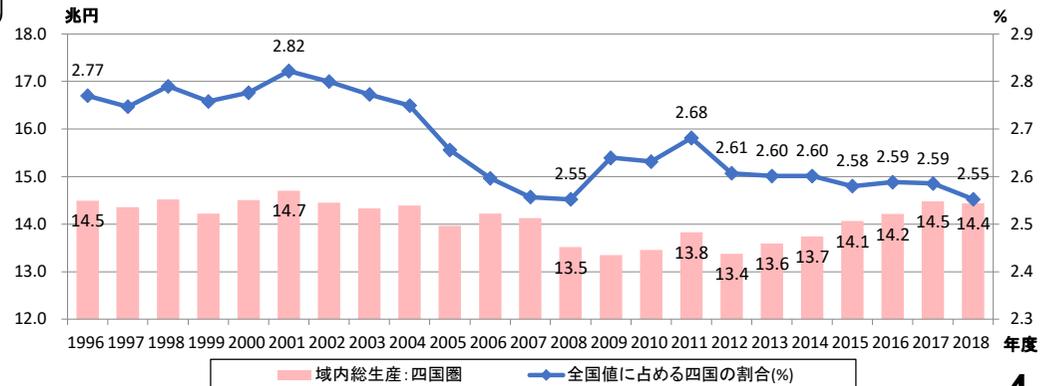
四国圏の人口は一貫して転出超過で、男性より女性の方が転出者数が多い。2020～2021年はコロナ禍により転出者数が若干少なくなる傾向。



出典: 住民基本台帳人口移動報告

<域内総生産(GRP)の全国シェア>

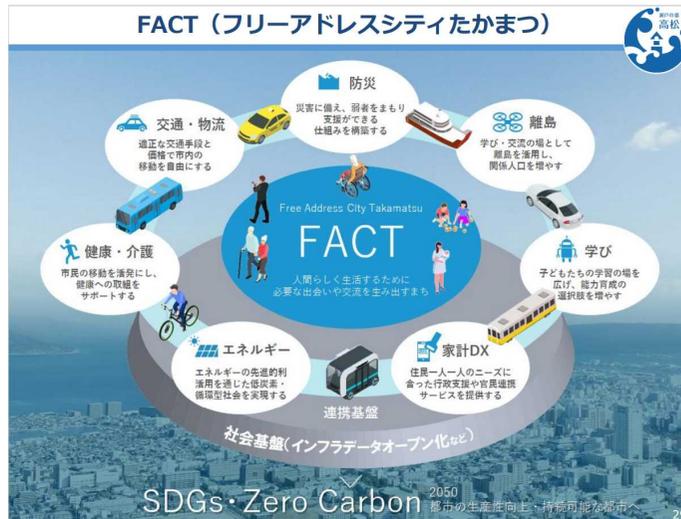
四国圏の域内総生産(GRP)は概ね14兆円前後で推移。全国シェアは、平成13年度の2.82%をピークに低下し、平成24年度以降は2.60%前後で推移。



出典: 内閣府「県民経済計算」

③地域の活力を生み出す新たな動き

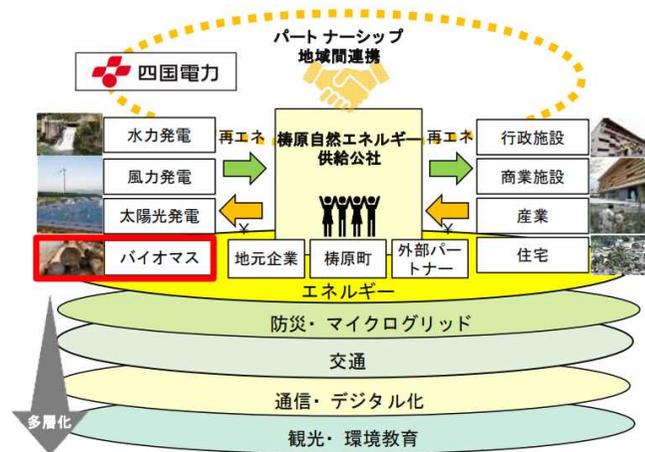
- まちづくりや移住促進など地域の活力を生み出す新たな動きの存在



▲高松市におけるデジタル技術を活用したまちづくり
出典) 高松市HP

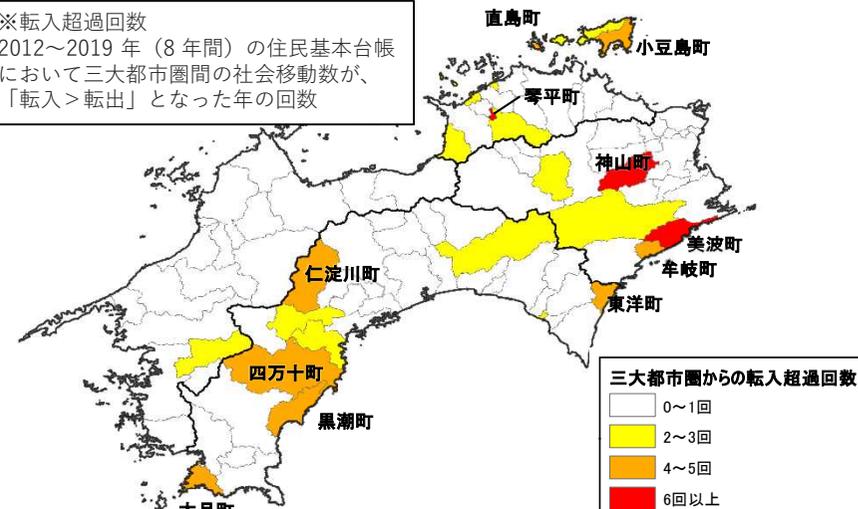


▲約20年ぶりの高専新設となる神山まると高専(徳島県)
出典: 神山まると高専HP



▲橋原町における地域エネルギー公社の事業イメージ
出典: 環境省HP「脱炭素先行地域選定結果(第1回)」

※転入超過回数
2012～2019年(8年間)の住民基本台帳において三大都市圏間の社会移動数が、「転入>転出」となった年の回数



▲四国の市町村における三大都市圏間の転入超過回数(2012～2019年)
出典) 住民基本台帳 住民移動報告年報

④個性ある地域の存在

- 自然風景、歴史・文化、食など個性ある地域資源が各地域に存在



しまなみ海道
(愛媛県今治市)



石鎚山
(愛媛県西条市)



金刀比羅宮
(香川県琴平町)



瀬戸内海と多島美



瀬戸内国際芸術祭



栗林公園
(香川県高松市)



道後温泉
(愛媛県松山市)



愛媛のみかん



四国カルスト
(愛媛県・高知県)



お遍路文化と
お接待の精神



鰻のタタキ



四万十川
(高知県)



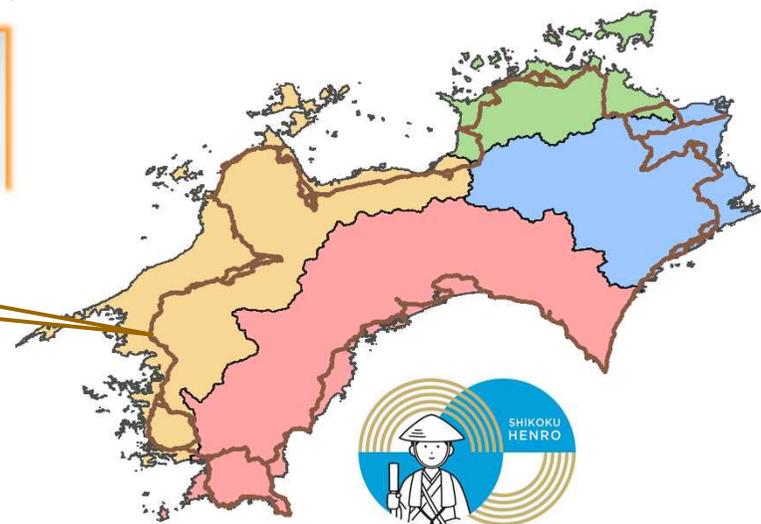
高知城
(高知県高知市)



室戸岬
(高知県室戸市)



大歩危・小歩危
(徳島県三好市)



お遍路ルート



さぬきうどん



鳴門の渦潮
(徳島県鳴門市)



阿波おどり
(徳島県)

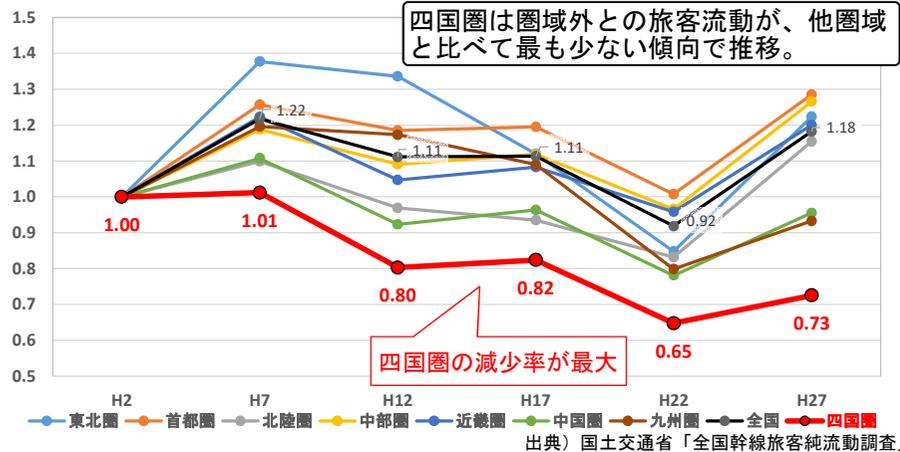


徳島ラーメン

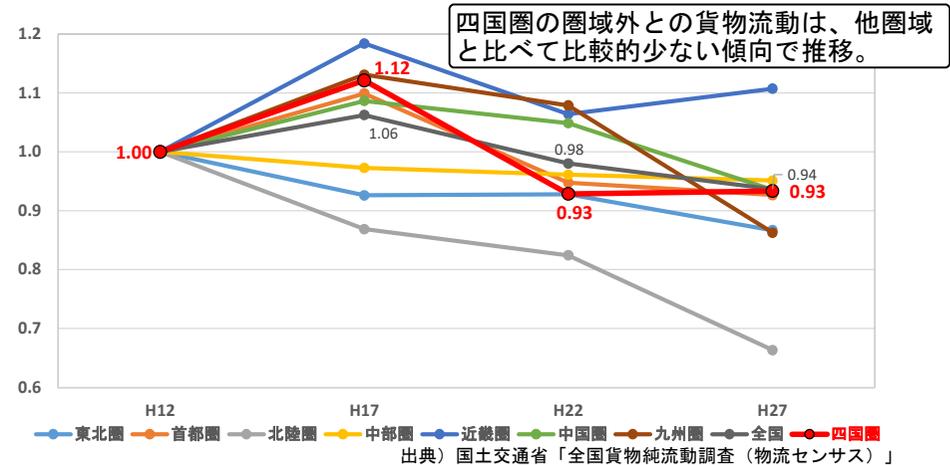
⑤ 交流の弱さ

- 圏域内外での人流や物流の動きが弱い

＜圏域外との旅客流動の変化率の推移(H2年を1.0とした場合)＞

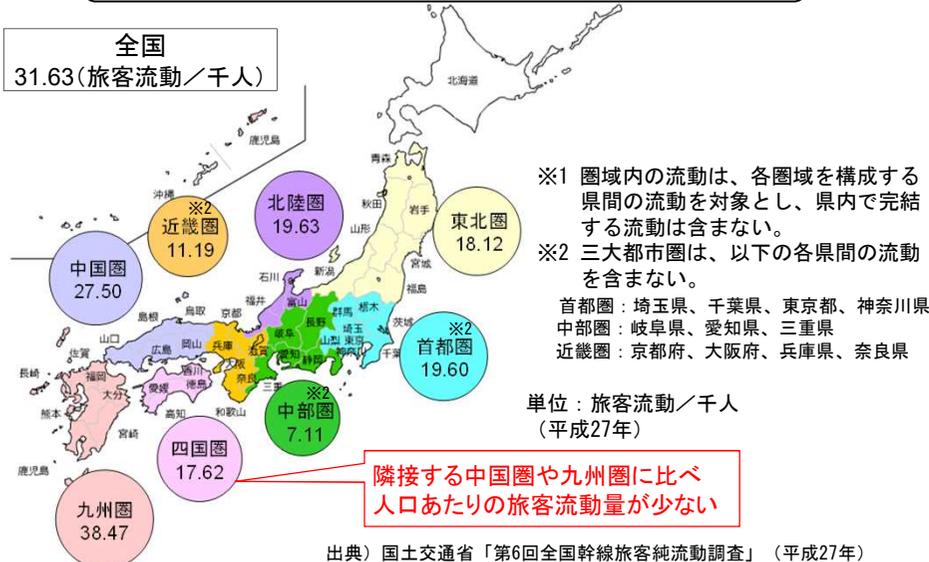


＜圏域外との貨物流動の変化率の推移(H12年を1.0とした場合)＞



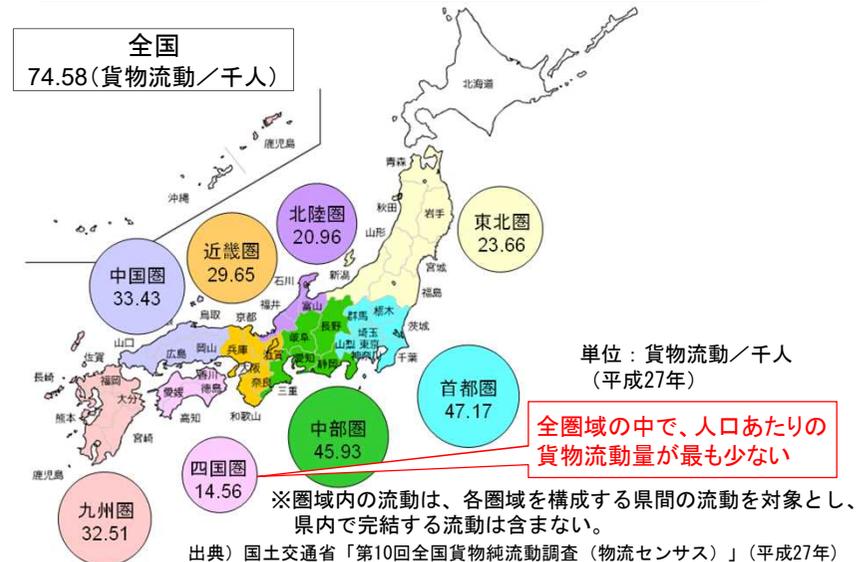
＜圏域内の人口千人あたり旅客流動＞

圏域内の旅客流動は、隣接する中国圏や九州圏に比べ低調で、四国内の人的交流が弱い状況。



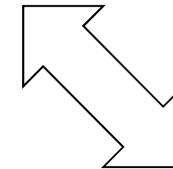
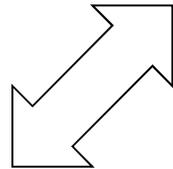
＜圏域内の人口千人あたり貨物流動＞

圏域内の貨物流動は、全圏域の中で最も弱い状況。



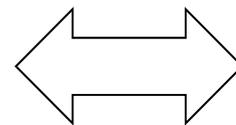
誰もが活躍し、豊かに暮らせる四国

- ・四国で生まれ育った人、四国に魅了された人の誰もが挑戦・活躍できる四国
- ・新たな産業と暮らし方を実現する四国



強くしなやかに 自然と共生する 安全・安心な四国

- ・地震や津波、風水害など巨大災害から生命と財産を守り、人々が安心感を持って暮らせる四国
- ・人と自然が共生し、次世代にわたり豊かさ享受する四国



人と地域が混ざり合い 新たな魅力を 創造する四国

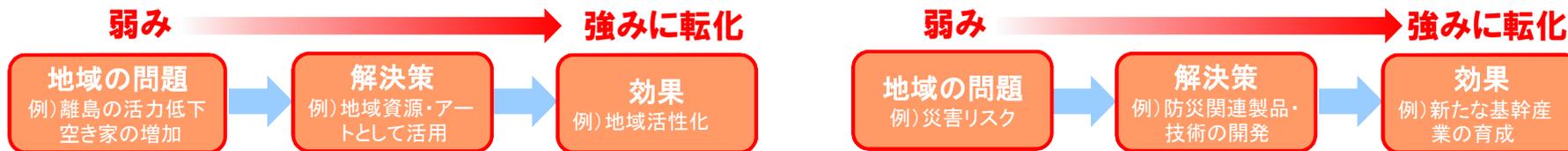
- ・多様な人や地域が集い、つながり、連携し、新たな魅力を造り出す四国

将来像の実現に向けた基本戦略

- ①弱みを強みに変える
- ②多様性を活かし、連携による総合力を発揮
- ③多能な人材と多機能な施設
- ④四国ならではの豊かさの再認識

①弱みを強みに変える

- 四国圏は、全国に先駆けて進行している人口減少や少子高齢化、南海トラフ地震などの巨大災害の発生リスクなど課題先進地域である。
- これらの課題解決への挑戦を通じて、豊かな社会の実現や新たなビジネスの創出など、全国へ展開可能な先進モデルを構築し、新たな四国の成長力を生み出すとともに、四国に暮らす人々が未来に希望を持てるようにする。



<例1> 瀬戸内国際芸術祭

- 瀬戸内海の島々は、高度成長期以降、人口減少・少子高齢化の進行や空き家の増加等により活力が低下していた。
- そのような中、これらの島々を舞台とした現代美術の国際芸術祭を2010年から3年ごとに開催しており、空き家をアート作品そのものやアートを展示する美術館のように再生することで、地域活性化に取り組んでいる。



▲瀬戸内国際芸術祭2022ポスター



▲観光客来場の様子 (2019年)



▲観光客来場の様子 (2022年)

出典：瀬戸内国際芸術祭2022 公式HP

<例2> 高知県の官民連携による防災関連商品開発・製造の取組

- 高知県は、南海トラフ地震により県土の広範囲で津波被害が想定されるほか、台風や集中豪雨など多くの風水害に見舞われてきた。
- 近年では、高知県の官民一体となって防災関連製品・技術を県内外で活用し、地域経済の活性化、災害対策の更なる推進など「防災産業の振興」に取り組んでいる。



▲メイドイン高知の防災製品紹介Webサイト

出典：防災先進県高知特設サイト (高知県HP)

② 多様性を活かし、連携による総合力を発揮

- 四国4県、各地域の多様性や独自性を伸ばし活かすとともに、必要な連携を図ることで総合力を発揮する。
- 多様な人材、事業者が結集することで、地域課題に対応したローカルビジネスを創出する。



<例1> 四国の銀行4行による地域商社の設立

- 四国の活性化や創生に取り組むため、四国の4行（阿波銀行、百十四銀行、伊予銀行、四国銀行）が、2020年4月に共同出資による地域商社「Shikokuブランド株式会社」を設立。
- 四国各県には特徴や魅力のある資源が存在。これらのブランディングや販路開拓までをワンストップでサポートし相乗効果を創出。



Shikokuブランド(株)が商品開発やパッケージデザインを行った特産品(一部)

出典：Shikokuブランド(株)HP

<例2> 地元企業の協働による問題解決の素地(香川県三豊市)

- 香川県三豊市では、地元企業が共同で協力し合い、地域の問題解決への取組によるイノベーション創出が盛んである。

浦島ヴィレッジ (宿泊施設)

- 父母ヶ浜が人気となり観光客が急増したが、地域に宿泊施設が少なく、地域経済の発展に活かし切れていない状況。
- こうした危機感を背景に、地元企業等11社が出資した瀬戸内ビレッジ株式会社が、一棟貸しの宿を2021年に開業。



出典：浦島ヴィレッジHP

瀬戸内暮らしの大学 (生涯学習)

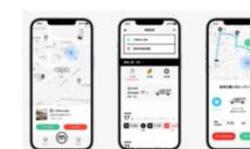
- 地元の18の企業・個人が参画し開校した、年齢や居住地に関係なく全ての人が一生涯学べる市民大学として2022年7月に開校。
- 地域全体を学びの場として、教わる側だけでなく教える側にも携われる、学びのプラットフォーム。



出典：瀬戸内暮らしの大学HP

暮らしの交通“mobi” (モビリティ)

- 地元企業等12社が出資し、暮らしの交通株式会社を設立。自宅から半径2km以内の移動手段を、エリア定額乗り放題サービスとして提供。
- KDDIとWILLERの合弁会社Community Mobility株式会社が提供するシステム「mobi」を導入し、2022年10月から無償実験運行を開始。



出典：国土交通省「第3回地域交通の「リ・デザイン」検討会」(2022.5.10) 三豊市提供資料

③多能な人材と多機能な施設

- 一人が複数の役割を担うことで、地域の担い手や事業継承者として活躍できる。
- 施設整備においては、多面的、複合的な施設づくりにより、整備効果を最大限発揮できる。

1人で複数の仕事を掛け持ちするケースの違い

- **副業**：主となる仕事（本業）とは別に仕事を持つこと
- **兼業**：職務以外の他の業務にも従事すること
- **マルチワーク**：季節ごとの労働需要に応じて複数の事業所で働くこと

<例1> 特定地域づくり事業協同組合

- 人口減少・高齢化が急速に進展する農山漁村において、地域の担い手確保の新たな枠組として、繁忙期の異なる複数の仕事を担う人材（マルチワーカー）を雇用し、地域の事業者へ派遣することで、安定的な雇用環境や一定の給与水準を確保する「特定地域づくり事業」を担う組合の設立を推進。
- 令和4年11月時点で、四国圏では6つの事業協同組合が認定。

かみかつ事業協同組合（徳島県上勝町）



出典：移住スカウトサービス「SMOUT」HP
(HP運営：面白法人カヤック)

東洋町特定地域づくり事業バツゲン協同組合（高知県東洋町）



出典：東洋町特定地域づくり事業バツゲン協同組合HP



複数の異なる施設

<例2> オーテピア高知図書館（高知県高知市）

- 高知県立図書館と高知市民図書館を融合した図書館であり、県市の図書館を一体的に整備した国内初の取り組み。
- 県と市が1つの施設の中で、各々の役割を明確にし、相互に連携した総合サービスを展開しており、利用者は県市の図書を区別なく利用することが可能。
- 「高知声と点字の図書館」、「高知みらい科学館」を併設した複合施設としても機能。周囲の商業店舗のアーケードから図書館までを直結する遊歩道を整備し、まちの賑わい創出にも寄与。



▲オーテピア高知図書館 外観

出典：高知県HP



▲館内の様子

出典：高知市HP

④ 四国ならではの豊かさの再認識

- 四国圏は、豊富な自然や長い歴史の中で生まれた個性ある文化、暮らしやすさなど四国ならではの豊かさが存在している。
- これらの豊かさは、四国圏の人々にとって当たり前の環境であるが、四国圏外の人々にとって魅力的な環境として、近年、世界からも注目されている。
- 四国ならではの豊かさを再認識し、地域の特徴を最大限に活用した取り組みを行っていく。

<例1> 世界から注目される四国の自然や歴史文化

- 「Lonely Planet Best in Travel 2022」
日本から唯一「四国」が選出（地域部門 第6位）



▲四国遍路（1番札所 雲山寺）

出典：四国遍路世界遺産登録推進協議会事務局HP



▲祖谷渓（徳島県）

出典：徳島県・（一財）徳島県観光協会HP

- 「世界の持続可能な観光地」（グリーン・デスティネーションズ）愛媛県大洲市が文化・伝統保全部門で世界1位に選出
- 「2019年に行くべき52箇所」（NYタイムズ）に日本から唯一「瀬戸内の島々」が選出



▲大洲市街地遠景

出典：（一社）キタ・マネジメントHP

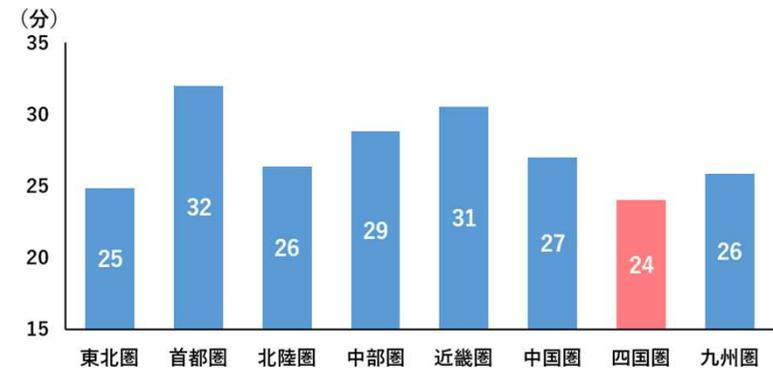


▲瀬戸内海（屋島からの眺望より）

出典：（公社）香川県観光協会

<例2> 暮らしやすい四国

- 他圏域と比べて通勤・通学時間が短い



出典：総務省統計局「令和3年社会生活基本調査」

※男女10歳以上の通勤・通学の平均値

- 他圏域と比べて余暇時間が長い



出典：総務省統計局「令和3年社会生活基本調査」

※男女10歳以上の3次活動の平均値

四国圏の将来像

強くしなやかに
自然と共生する
安全・安心な四国

人と地域が混ざり
合い新たな魅力を
創造する四国

誰もが活躍し、豊
かに暮らせる四国

基本戦略

- ①弱みを強みに変える
- ②多様性を活かし、連携による総合力を発揮
- ③多能な人材と多機能な施設
- ④四国ならではの豊かさの再認識

四国圏の目標

①南海トラフ地震や風水害に対応する安全・安心な四国

- 南海トラフ地震や激甚化・頻発化する風水害など巨大災害から生命と暮らしを守る
- 地域の暮らしを支える社会インフラの持続可能なインフラメンテナンスシステムの実現

②気候変動対策や自然環境の保全・利活用により自然と共生する四国

- 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた地域づくり
- 森林や海洋の自然環境の保全・利活用
- 自然の力を活かした地域課題解決や地域活性化等

③個性ある地域が連携して活力あふれる四国

- 暮らしに必要なとなる様々なサービスを柔軟な範囲で重層的に提供する地域生活圏の形成により、地域の生活の質の維持と向上
- 地域一体での土地・建物の最適な利用と管理

④歴史・文化、風土を活かした交流・連携により人をひきつける四国

- 四国遍路など個性ある地域資源を活用した地域活性化と持続可能な観光地域づくり
- 圏域外へ四国の魅力発信
- 圏域内外との交流・連携の強化

⑤多様性が尊重され、誰もが生き生きと活躍する四国

- 多様なライフスタイルが実現できる魅力ある地域づくり
- 挑戦や失敗が許容される環境づくり
- 地域を支える担い手や仕組みの創出

⑥地域産業の成長と創出により競争力を発揮する四国

- DX、GX、SDGsなど事業環境の変化を捉えつつ、地域資源の活用や生産性向上による産業の成長
- 連携やイノベーションによる新たな産業の創出と市場・販路の拡大
- 農林水産業の生産力向上と持続性確保

目標① 南海トラフ地震や風水害に対応する安全・安心な四国

- 南海トラフ地震や激甚化・頻発化する風水害など巨大災害から生命と暮らしを守る
- 地域の暮らしを支える社会インフラの持続可能なインフラメンテナンスシステムの実現

取組

(1) 南海トラフ地震や激甚化・頻発化する風水害など巨大災害から生命と暮らしを守る

- 南海トラフ地震等巨大地震、流域が一体となった風水害への備えの強化
地震・津波対策のためのハード整備／激甚化する風水害・土砂災害対策／避難者の安全を確保する避難対策／災害情報の迅速な提供と精度向上
- 広域的な応援体制の構築及び災害対応体制の強化
広域連携体制・受援体制の整備／災害対応体制の強化
- 森林、河川流域の適切な整備・保全とグリーンインフラの整備、水資源の確保
森林、河川流域の適切な整備・保全／グリーンインフラの整備／水資源の確保

(3) 地域の暮らしを支える社会インフラのメンテナンスを推進

- 計画的な予防保全型インフラメンテナンスの実践
戦略的な計画策定・見直しを推進
／計画的な定期点検と点検結果に基づく計画的な修繕・更新
- 地域インフラ群再生の推進
広域的・戦略的なインフラマネジメント
／集約・再編等によるインフラストックの適正化
- インフラメンテナンスの体制の構築とデジタル技術の活用
多様な主体の連携・協力によるインフラメンテナンスの体制の構築
／新技術・デジタル技術の活用
- インフラメンテナンスの技術力向上と担い手育成
技術力向上と担い手育成／インフラメンテナンスの必要性への理解促進

(2) 災害に強い圏域づくりに向けた取組の促進

- 災害に強い交通・情報通信ネットワークの強化
災害に強い交通ネットワークの強化
／災害に強い情報通信インフラの強化
- 事前防災・事前復興を見据えた災害に強いまちづくりの推進
災害に対応可能な地域コミュニティの育成／災害に強いまちづくり
／災害時の業務継続機能の確保／災害後の復興を見据えたまちづくり
／文化財の防災対策
- デジタル防災の推進と防災人材の育成
デジタル技術を活用した防災の推進／防災人材の育成

◆流域治水の推進

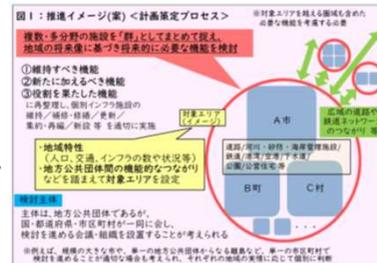


▲流域治水のイメージ

出典：国土交通省「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト」 出典：四国地方整備局 徳島河川国道事務所

◆総力戦で取り組むべき次世代の「地域インフラ群再生戦略マネジメント」

- 事業者及び市区町村がそれぞれ機能的、空間的及び時間的なマネジメントの統合を図ることで持続可能なインフラメンテナンスを実現
- 国民の理解と協力から国民参加・パートナーシップへの進展等を通じた多様な主体による「総力戦」での実施体制の構築を図る



四国圏の発展に向けた目標－四国圏の目標－

目標② 気候変動対策や自然環境の保全・利活用により自然と共生する四国

- 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた地域づくり
- 森林や海洋の自然環境の保全・利活用
- 自然の力を活かした地域課題解決や地域活性化等

取組

(1) 2050年カーボンニュートラル実現に向けたエネルギーミックスの見直し

- エネルギーミックスの見直し
安定的なエネルギー供給の実現／分散型エネルギーシステムの構築
- 森林資源・海洋資源等を活用した再生可能エネルギーの導入促進
森林資源を活用した再生可能エネルギーの導入／海洋資源等を活用した再生可能エネルギーの導入

(3) 地域・暮らしの円滑な脱炭素化等の促進

- 省エネ住宅・建築物の普及促進
- 次世代自動車の普及促進

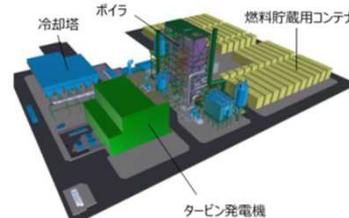
(5) 身近な生活環境の保全

- 身近な生活環境の保全
大気環境の保全／土壌汚染対策の推進
- 循環型社会の推進
循環型社会の形成を進めるための仕組み構築
／循環型社会の形成に向けた国際的な取組の推進

◆2050年カーボンニュートラル実現に向けた取組

<坂出バイオマス発電事業>

- 四国電力(株)等の6社は、香川県坂出市において木質バイオマス発電事業を共同で実施。
- 2022年11月に着工、2025年6月に営業運転開始予定。
- 年間発電量は一般家庭約17万世帯に相当する約5.3億kWhを想定、年間約24万トンのCO2排出削減効果を見込む。



▲坂出バイオマス発電所イメージ図
出典：四国電力(株)HP

(2) 地域産業の円滑な脱炭素化等の促進

- 脱炭素技術の開発・普及推進
- カーボンニュートラル実現に向けた新たなビジネス・産業の創出・誘致
脱炭素に資する産業の育成／水素社会の実現に向けた取組

(4) 森林や海洋の自然環境の保全・利活用

- 美しい山、川、海、島の自然環境や生物多様性の保全・再生
森林保全と利活用／健全な水循環の維持又は回復／海域の保全と利活用
／自然環境と生物多様性の保全・再生／エコロジカルネットワークの形成
／人と野生生物等の関係の適正化

(6) 自然の力を活かした地域課題解決や地域活性化等

- 美しい風土を活かした個性ある地域づくり
美しい自然を舞台とした地域独自の風景づくり
／自然資源等を活用した地域活性化
- 持続可能な社会づくりの担い手を育む教育の推進

◆森林環境の保全・利活用

<環境先進企業との協働の森づくり事業（高知県）>

- 環境問題に積極的に取り組んでいる企業や団体と、高知県・県内市町村・森林組合がパートナーズ協定を締結し、森林再生活動や、都市・地域間交流活動に取り組む事業。



官民協働による交流活動の様子

出典：高知県HP

目標③ 個性ある地域が連携して活力あふれる四国

- 暮らしに必要なとなる様々なサービスを柔軟な範囲で重層的に提供する地域生活圏の形成により、地域の生活の質の維持と向上
- 地域一体での土地・建物の最適な利用と管理

取組

(1) 持続可能な地域生活圏の実現

- **地域生活圏の形成による生活の質の維持・向上**
 地域生活圏形成に関する方針／デジタルとリアルが融合した地域生活圏の形成
 ／「デジ活」中山間地域の形成／スマートシティの形成
 ／SDGs未来都市と地域循環共生圏の形成／連携中枢都市圏等との連携
 ／安全・安心で快適な生活環境づくり
- **「コンパクト+ネットワーク」な都市構造の実現**
 「コンパクト+ネットワーク」な都市構造の実現
 ／快適に移動可能な、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりの推進
 ／ユニバーサルデザインの理念に基づく取組の推進
 ／コミュニティによる暮らしの安全・安心の確保
- **地域公共交通の再構築の促進**
 持続可能な地域公共交通体系の再構築／中山間地域や郊外等における移動手段の確保／デジタルや新技術を活用した新たなモビリティの充実
- **中山間地域・半島部・島しょ部等の維持・活性化**
 地理的、自然的、社会的条件の厳しい地域への対応
 ／「小さな拠点」を核とした維持・活性化／持続可能な農山漁村の創造
 ／中山間地域等の農村に人が住み続けるための条件整備
 ／水産業を支える漁村の活性化の推進

◆「コンパクト+ネットワーク」な都市構造の実現

- 香川県高松市は、「多核連携型コンパクト・エコシティ」の推進を標榜し、公共交通を基軸とした集約型都市の構築に向けた効果的な施策・事業を推進。



▲高松市における公共交通ネットワーク再構築イメージ
 出典：高松市「多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画」(2018.4改定)

(2) 適切な土地・建物の利用・管理

- **地域の持続的な土地管理・利用の促進**
 農用地等の持続可能な土地利用の推進／地籍整備等の推進
 ／自然的土地利用への転換に向けた条件整備
- **空き家と耕作放棄地など利用の最適化**
 増加する空き家への対応／良質なストックの形成や住宅循環システムの構築
 ／耕作放棄地対策

◆デジタル活用による農山漁村の活性化

<ITによる全県的な医療連携(香川県、全国初)>

- かがわ医療情報ネットワーク「K-MIX R」は、医療関連機関において電子カルテやレセプト等の医療情報を共有、地域で包括して患者の治療や見守りが可能。
- 遠隔読影システムにより、CTやMRI、レントゲンなどの画像について、かかりつけ医と読影専門の放射線診断医が場所問わず連携でき、質の高い診断が可能。



▲病院や薬局における活用の様子
 出典：K-MIX R(かがわ医療情報ネットワーク) HP

◆空き家問題体験すごろく(愛媛県四国中央市)

- 四国中央市では、空き家対策の1つとして、空き家問題をゲーム感覚で身近に知ってもらうためのツール「空き家問題体験すごろく」として作成。空家等対策に係る地元金融機関との連携協定による活動の一環。
- 令和2年2月のお披露目のタイミングで、大会場で「人間すごろく」のアトラクションを実施し、空き家問題への市民の関心を高める上で効果を発揮。



▲空き家問題体験すごろく
 出典：四国中央市HP

目標④ 歴史・文化、風土を活かした交流・連携により人をひきつける四国

- 四国遍路など個性ある地域資源を活用した地域活性化と持続可能な観光地域づくり
- 圏域外へ四国の魅力発信
- 圏域内外との交流・連携の強化

取組

(1) 歴史・文化、風土の継承と活用による魅力ある地域づくり

- 四国遍路をはじめとした四国圏独自の歴史・文化の保全・継承と地域おこしの人材育成
お遍路文化の次世代継承／地域おこしの人材育成／文化資源の活用
- サイクリング・アートなど多様な文化を活用した地域づくりの推進
サイクリング等スポーツを活用した地域づくり／アートを活用した地域づくり／地域固有の食文化を活用した観光客誘致と地域づくり／新しい圏域文化の創造・発信

(3) 圏域内外、国外との連携・交流の促進による観光活性化

- 地域の魅力向上と相互連携の強化による圏域内外の交流促進
四国圏の魅力向上／相互連携の強化
- 広域交通ネットワークの整備・強化による圏域内外の連携・交流の促進
- 国際ゲートウェイ機能の強化による国外との交流を促進

◆四国における歴史文化遺産の活用

- 明治末期～大正初期に建てられた遍路宿「坂本屋」の改修利用や、大洲市の城下町（旧町人町）の街並み保全など、歴史文化遺産を観光資源として活用。



旧遍路宿 坂本屋
(地元住民により改修・復元)
出典：松山市HP



愛媛県大洲市 志保町通り
(城下町の街並み)
出典：大洲市観光まちづくり町家活用
エリア実施計画

◆広域周遊観光や受入環境の整備

<四国をぐるっと楽しむ“旅”アプリ「しこくるり」>

- アプリ1つで、レジャー・体験の予約、ポイント獲得・利用によるお得な観光施設周遊、四国内交通機関のお得な周遊・乗り放題デジタルチケットの購入などができ、四国の広域観光周遊を促進。



▲観光周遊アプリ「しこくるり」
出典：(一社)四国ツーリズム創造機構

(2) 地域資源を活用した持続可能な観光地域づくり

- 環境と地域が共生した観光の実現
持続可能な観光地域づくりの推進／マイクロツーリズムの推進
- 観光地・観光産業の高付加価値化
観光資源の高付加価値化と新たな観光資源の創出／景観の活用による地域の活性化
- 広域周遊観光や受入環境の整備によるインバウンド観光の促進
インバウンド獲得に向けた広域周遊観光PR／観光客受入環境の整備
- 地域の魅力を積極的に国内外へ発信
魅力的な地域資源を積極的に国内外へ発信
／四国から直接世界に向けて情報発信

◆国際ゲートウェイ機能の強化

<高松港玉藻地区>

- 玉藻地区の客船専用岸壁は、現状では5万トン級まで対応。岸壁の延伸及び浚渫により11万トン級のクルーズ船受入れ対応に向けた整備を推進。



▲高松港玉藻地区将来構想
(クルーズ船受入れ機能強化)

出典：高松港・坂出港長期構想

目標⑤ 多様性が尊重され、誰もが生き生きと活躍する四国

- 多様なライフスタイルが実現できる魅力ある地域づくり
- 挑戦や失敗が許容される環境づくり
- 地域を支える担い手や仕組みの創出

取組

(1) 多様なライフスタイルが実現できる魅力ある地域づくり

- 男性・女性ともに仕事と家庭の両立を図れる地域づくりの推進
- 結婚前、結婚、妊娠・出産、子育て、医療、介護といったライフステージに応じた支援の充実
結婚支援策の強化／ライフステージに応じた支援の充実
- 次世代を担う子どもたちが健やかに育ち、学べる環境の創出
子どもたちが健やかに育つ環境の創出／ICTを利用した学習環境の整備
- 元気な高齢者が知識、経験、技術を活かして活躍できる地域づくりの推進
高齢者等が活躍できる地域づくりの推進／高齢者の移住・定住による地域コミュニティの活性化
- 障がい者が能力を最大限発揮し、活躍できる地域づくりの推進
障がい者が活躍できる地域づくりの推進
／障がい者の雇用促進及び就労支援の充実
- 外国出身者が暮らしやすく、活躍できる地域づくりの推進

(2) 魅力ある就業機会の創出

- 多様な価値観と挑戦を受容する地域づくりの推進
- デジタル活用により都市部と遜色のない就業機会の創出
- 産学官の連携により魅力ある就業機会を創出
雇用のミスマッチ解消による若者の流出防止
／若者と地元企業を有効に結びつけるための就職支援

(3) 共助社会づくりの推進と新たな担い手の創出

- 地域づくりの担い手の育成と持続的な共助社会づくりの推進
デジタルを活用した医療・介護・福祉の充実／住宅セーフティネットの機能の充実／犯罪や事故のない安全・安心な地域づくり
／地域づくりの担い手育成／社会参画のための仕組みづくり
- 大都市圏との交流促進、移住・定住の受入れ促進による地域活性化
関係人口の拡大／大都市圏との交流促進／UIターンへの誘致に向けた環境整備

◆地域の新たな担い手の創出



▲香川地域活性化グローバル人材育成プログラム
出典：香川地域活性化グローバル人材育成プログラムFacebook

◆若者の就業機会の創出



▲えひめジョブチャレンジU-15事業
(中学生の地域企業での職場体験学習)
出典：愛媛県HP「愛顔のえひめ(令和2年3月号)」

◆共助社会づくり（在宅医療と介護の連携）

- 愛媛県松山市は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、医療・介護・予防・保健・住まい・生活支援が一体的に提供される、「松山型地域包括ケアシステム」の構築を推進。



▲「松山型地域包括ケアシステム」の目指す姿
出典：第8期松山市高齢者福祉計画・介護保険事業計画

四国圏の発展に向けた目標－四国圏の目標－

目標⑥ 地域産業の成長と創出により競争力を発揮する四国

- DX、GX、SDGsなど事業環境の変化を捉えつつ、地域資源の活用や生産性向上による産業の成長
- 連携やイノベーションによる新たな産業の創出と市場・販路の拡大
- 農林水産業の生産力向上と持続性確保

取組

(1) DX、GX、SDGsなど事業環境の変化に応じた地域産業の成長促進

- SDGsなどグローバルな事業環境の変化への対応
- DXやGXによる地域産業の再生

(3) 連携やイノベーションによる地域産業の創出促進

- 持続的な成長の糧となる新たな産業の創出やスタートアップを促進
地域の新たな産業の創出促進／ベンチャー企業・スタートアップの創出
- 産学官連携によるイノベーション促進
大学を核とした産学官協創都市／産学官連携の強化

(5) 技術力や魅力の向上により新たな市場・販路の拡大

- 高い技術力や魅力ある四国産品の国内外への市場・販路拡大
交通インフラ整備の推進／通信インフラ整備の推進
／インフラ機能の強化・高度化及び多機能化の推進
- 産業の基盤を支える社会インフラ機能の整備・強化
インフラ整備の推進／インフラ機能の強化・高度化及び多機能化の推進

◆四国の農産品の新市場開拓



▲愛媛県の柑橘類のトップセールス
(大阪市中央卸売市場での様子)

出典：愛媛県HP



▲シンガポールの量販店にて
高知県農産物のプロモーション

出典：四国地方整備局「第2回 四国における港湾を活用した農林水産物
輸出促進検討会(H31.3.15)」における高知県提供資料

(2) 地域資源の活用と生産性向上による地域産業の成長促進

- 地域資源の活用と労働生産性向上による地域産業の成長促進
ものづくり産業の生産性向上／地域産業の成長促進

(4) 農林水産業の生産力向上と持続性の実現

- デジタル活用によるスマート農業の推進
- 農林水産業の生産力・生産性向上
地域資源を活用した所得と雇用機会の確保／農業生産基盤の整備・保全
／水産業の成長産業化の実現／持続可能な農林水産業の推進
- 農林水産業の高付加価値化、雇用創出、農山漁村活性化の好循環の形成
農林水産業の高付加価値化、雇用創出と農山漁村活性化／農業の多面的機能の
向上／食の安全確保
- 新たな木材需要の創出
新たな木材需要の創出／新しい林業に向けた取組の展開
- 需要者ニーズに対応した国産材の安定供給体制の構築
- 農林水産業に対する野生鳥獣被害対策の推進

(6) 産業の成長力を支える人材の育成・確保

- 四国圏の活力となる経営・デジタル・ビジネス人材の確保・育成
四国圏の産業の次世代を担う人材の確保・育成／圏域外からの人材の確保
- DXやGX人材の育成
DX人材の育成／GX人材の育成
- 建設業における中長期的な担い手確保
- 多様な働き方の実践による、多様な人材の活躍促進
- 学びの場の創出による多様な人材の育成・活躍促進
学びの場における多様な人材の育成・活躍促進
／オープンイノベーション拠点の創出／経営者の経営資質の向上